
“捨てる” と “使う” をつなぐ仕組みの共有
～Tokyo 2020での可能性～

会社名	株式会社ナカダイ
創業	昭和12年
資本金	40,500千円
本社/ショールーム	東京都品川区南品川2丁目4番5号 naビル9F
前橋支店/工場	群馬県前橋市駒形町1326
粕川工場/中古市場	群馬県前橋市粕川町込皆戸入田92-1
従業員	51名（パート・アルバイト含む）
業務内容	中古オークション市場運営 中古品・再生素材販売業 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬・処分業 上記に関連するコンサルティング業務、他
関連会社	株式会社モノファクトリー

株式会社ナカダイ



多様な価値観と自由な発想で社会に貢献する

株式会社ナカダイ



“使い方”を創造し、“捨て方”をデザインする

株式会社ナカダイ

不要になったモノの流れを最適化するための提案を行う事業



廃棄物・ごみを出さない人間や企業はありません。
廃棄物処理業者ならではの、ノウハウによって不要になったモノの最適なルートをご提案します。

廃棄コスト
の最適化

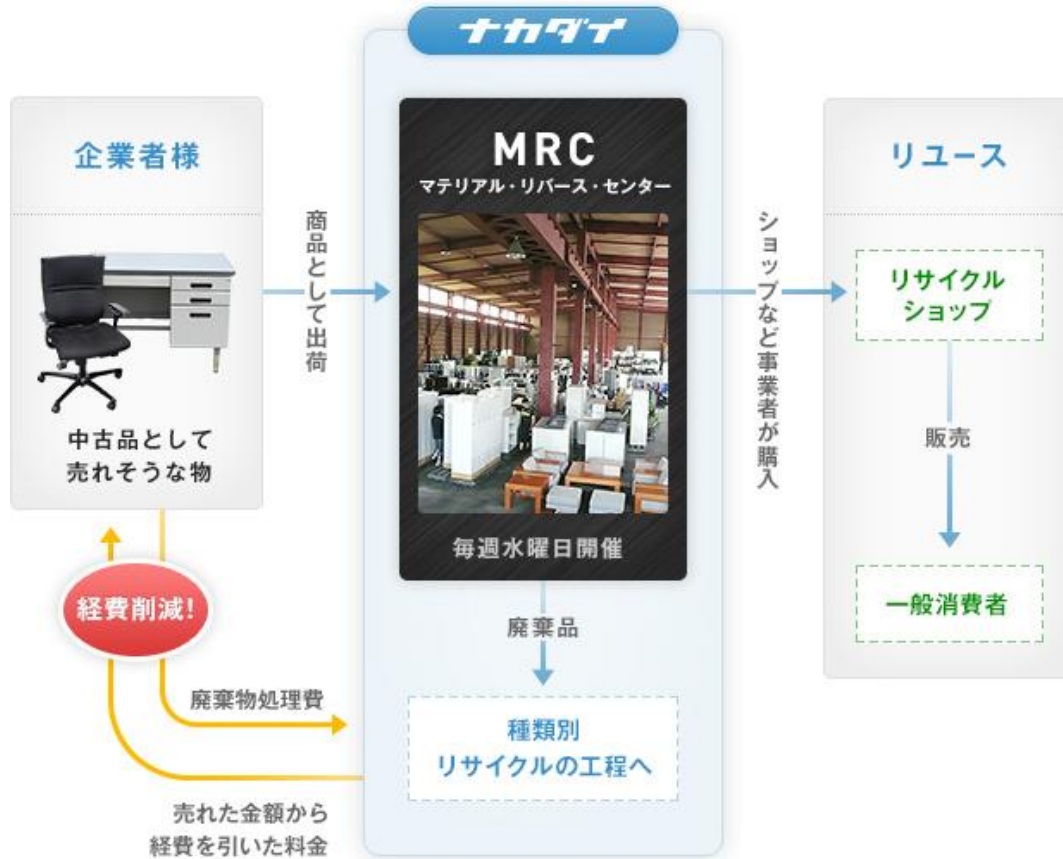
管理コスト
の最適化

環境イベン
トのご提案

リユース
による廃棄
費用の削減

株式会社ナカダイ

モノの機能をそのまま活かす事業



株式会社ナカダイ

モノの新しい使い方を創造する事業



マテリアルライブラリー



工場見学



モノ作り・解体ワークショップ

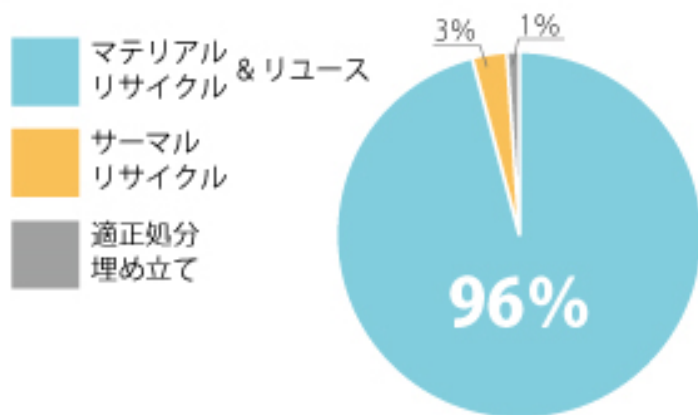


ストア

株式会社ナカダイ

廃棄物から素材を生産する事業

リユース・リサイクル率

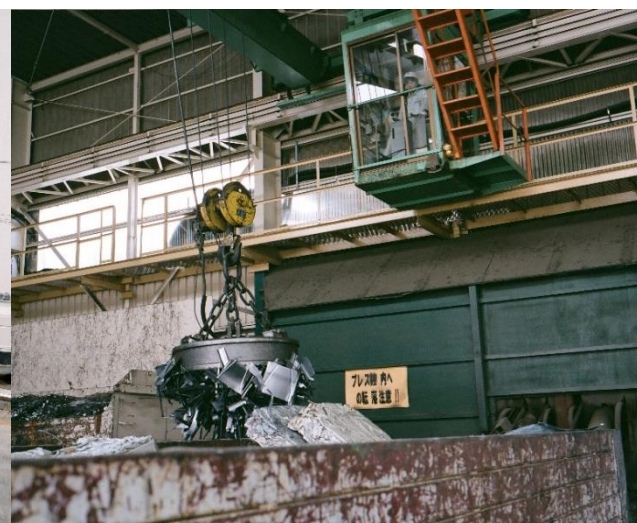


1日に約50トン
搬入する廃棄物を

99%

リユースリサイクル
することができます。

固体であれば、ほとんどを受け入れることが可能です。
多品目を一括で受け入れられる数少ない処理業者です。
リサイクルだけでなく、北関東最大のリユース市場の運営も行っています。
(受け入れ可能品目は、<http://www.nakadai.co.jp/> をご参照ください。)



株式会社ナカダイ

1. 方針を示す

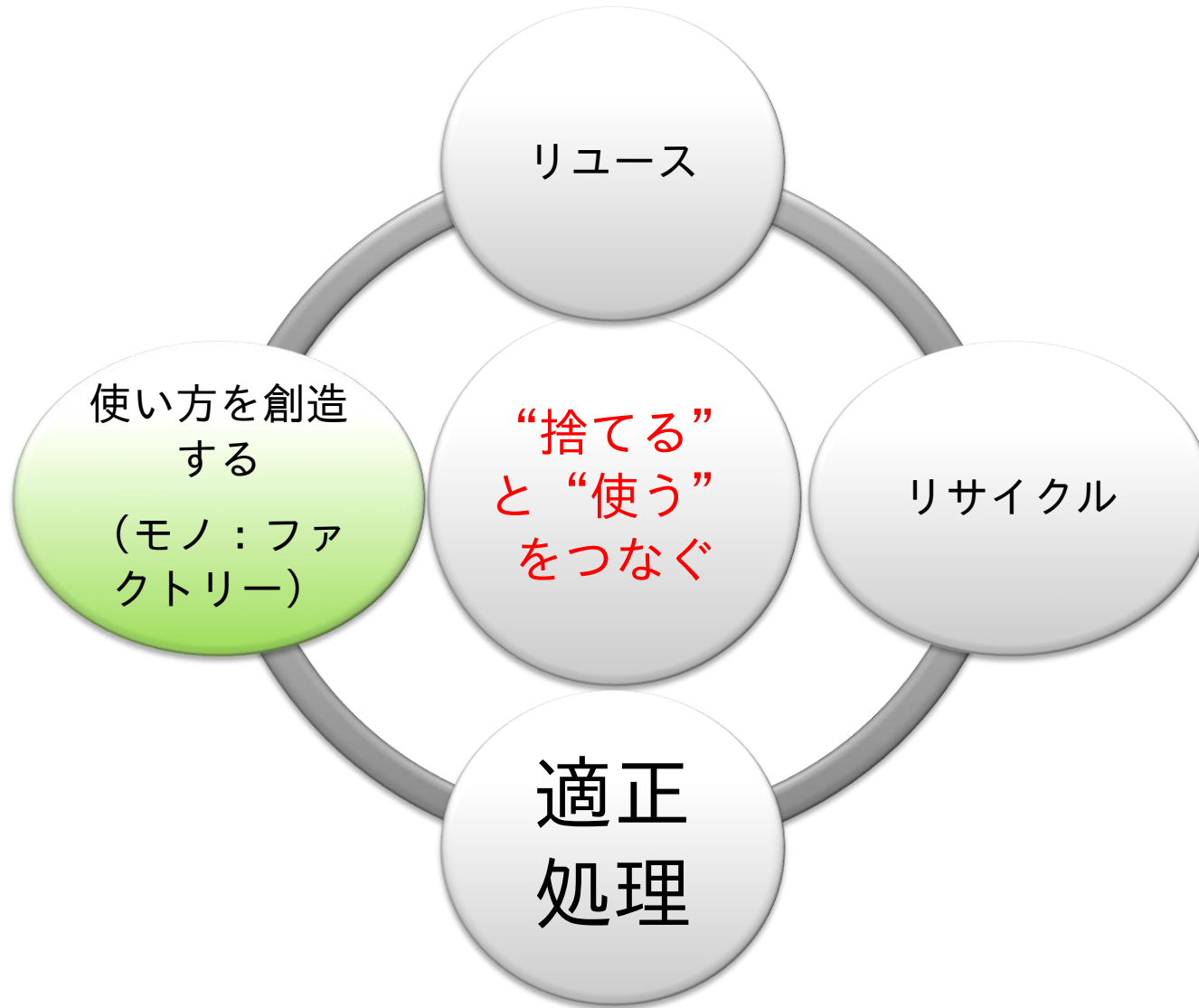
- Tokyo 2020は、日本らしい“後始末”を丁寧に行う大会。今までの“捨てる”と、これからの“使う”をつなぐ大会として、世界に先駆けたチャレンジを行う。

2. つなぐ

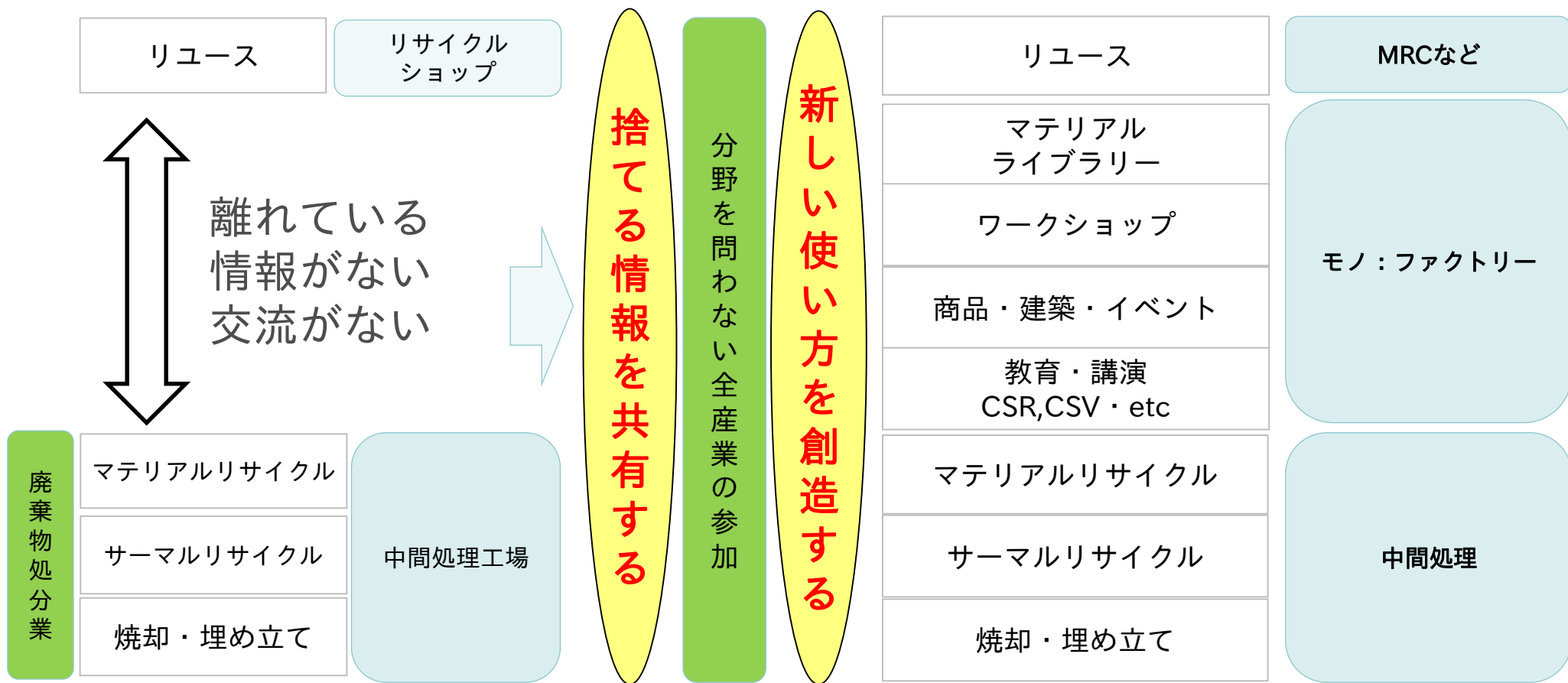
- 環境大国である日本には、さまざまな分野で、優秀なプレイヤーがたくさんいる。それぞれのジャンルの企業と人を、Tokyo 2020を機につなぐ。

3. “捨てる情報”の共有

- 新発売や必要なモノの調達の情報はあがあるが、要らない、廃棄したいという情報はあまりない。Tokyo 2020を機に、あらかじめ“捨てる情報”を整理・共有することで、さまざまな分野の優秀なプレイヤーが、“日本ならではの丁寧さ”を加えた新しいモノの使い方を創造し、世界に発信する。



株式会社ナカダイ



“捨てる” と “使う” をつなぐ仕組み

株式会社ナカダイ

“つなぐ” ための手法→ “次” とは？

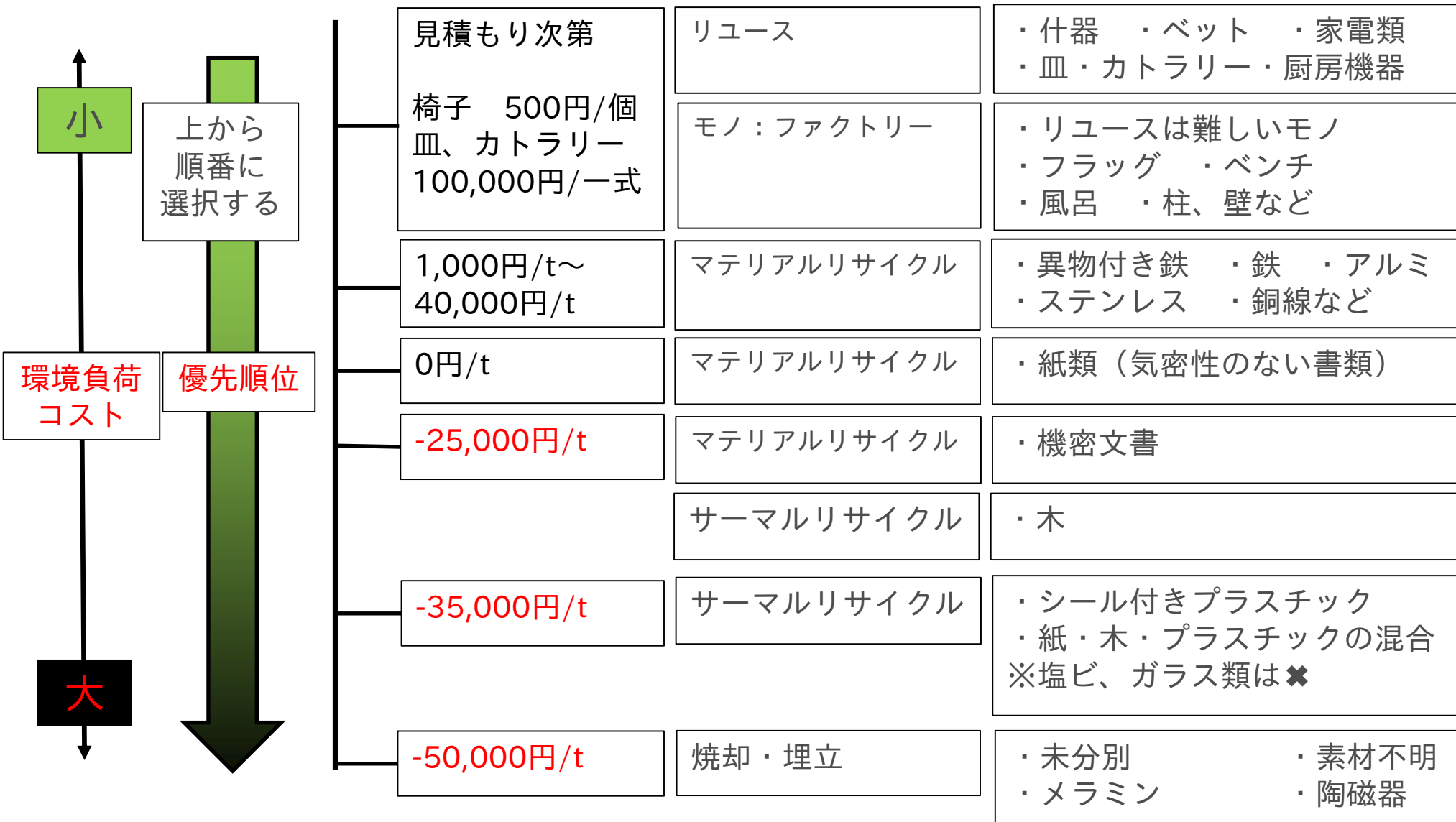
Tokyo 2020に向けて

区分（優先順位順）	内容	環境負荷 CO2	コスト（指 数）
①リユース	モノの機能をそのまま使う	なし	見積もり
②モノ：ファクトリー	モノの特徴を生かして使う	なし	-50～見積もり
③マテリアルリサイクル	素材として、再生利用	小	-50～50
④サーマルリサイクル	熱源・発電エネルギーとして使う	中	-70
⑤適正処理	焼却・埋め立て	大	-100

株式会社ナカダイ

コストと環境負荷を下げる（イメージ）

Tokyo 2020に向けて



株式会社ナカダイ